

2025 年 10 月 28 日(火)～10 月 30 日(木)の 3 日間、駒澤大学駒沢キャンパス緑の丘防災倉庫周辺で「駒大防災ハロウィン」が開催されました。僕は、10 月 28 日火曜日に参加しました。

アトラクション	内容
駒大防災倉庫バックヤードツアー	防災装備・備蓄・対策のチェック
防災体験	消火器噴射・けむりハウス
炊き出し訓練	防災食の調理実演・試食会
防災 VR 体験	仮想空間内で地震や火災の体験
救急救命体験	自分の胸骨圧迫(心臓マッサージ)スキルを点数化

【駒大防災倉庫バックヤードツアー】

食料品・飲料水・災害時救援セット・簡易トイレ・仮設トイレ・おむつ・生理用品・カイロ・ガスコンロなどが備蓄されていた。学生・職員・避難してくるだろう地域住民の数を考えると、どれくらいの人が何日もつ量が備蓄されているのか気になります。3号館の裏に倉庫があったので、学生や教職員の誰かがここに向かう連携が必要。



(防災倉庫の様子 撮影：沼津のコアサポ)

【防災体験】

消火器の噴射を体験しました。僕自身、消火器を扱うのは初めてだったのでよい景観になりました。



<消火器を扱う順序>

黄色い品を抜く➡ホースの先端を持つ➡レバーを押しながら噴射する。

※低い姿勢を保ちながら、火の根元を狙う。消火器の持続時間は 15 秒～20 秒なのでそれでも消えない場合は非難する。

(沼津のコアサポの消火の様子：
撮影者はや)

<けむりハウス>

人間には無害な煙が使われていましたが、視界がかなり悪かったです。煙は上に登っていくので上部ほど濃度が高く、下部ほど濃度が低いので低姿勢で口元をハンカチ等でふさぎながら行動することが求められます。

(けむりハウスの様子)



【炊き出し訓練】

熱湯を入れて15分ほどで炊き上がる白米(α米)と、鉄板でコーンピラフが調理されていました。非常食も多種多様で、非常においしく食べられたのでびっくりしました。

ガチガチの主観、感想になっちゃってすみません。(当日の昼休みに頂きました)

(保存食・保存水を頂きました。一人暮らしにはありがたいので大切にします)



(展示されていた防災装備)



【イベントを振り返って】

地理学特講E・Fの講義のみならず、これまで地理学科に在籍しながら受けてきた講義内で「防災」に関しては、頻繁に扱われてきたし、高校までとは格段に違うレベルの高い知識を学んできたと思います。あらゆる災害を具体的に「想定」「想像」し、実際に災害が発生した際の取り組み、また今後の防災に関する課題を考えることはとても大切ですが、僕が今までやってきたことはあくまで

「インプット」に過ぎないと思っています。講義が終わればそれで「おしまい」にしてしまうと、記憶や知識はいずれ忘れてしまうので、このようなイベントまたはフィールドワークなどを通して多少なりとも「アウトプット」する場が必要だと考えていました。

このようなイベントは教育機関や地域住民が主催・主体となっているケースが多いと思うので、実際イベント現場で行われるアトラクションを通じてコミュニケーションを取り、共に学ぶことで、コミュニティ形成がされ、有事の際にも円滑に非難活動を行うことができるのではないのでしょうか。